

製品安全性データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : エミット 2000 タクロリムス 前処理液 (品目コード: 8R079UL)
会社名 : シーメンスヘルスケア・ダイアグノスティクス株式会社
住所 : 〒141-8673 東京都品川区東五反田 3-20-14
電話番号 : 03-3537-3939 コールセンター
改定番号 : 4.0

硫酸銅

2. 組成・成分情報

単一性・混合物の区別: 硫酸銅(4.5412%)を含有する製剤
化学名: 硫酸銅(II)
化学式: CuSO_4
含有量: 4.5412%
CAS 番号: 7758-98-7
官報公示整理番号 化審法 (1)-300
推奨用途及び使用上の制限: 体外診断用

3. 危険有害性の要約

絵表示又はシンボル:



注意喚起語:

危険

危険有害性情報:

飲み込むと有毒
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
遺伝性疾患のおそれの疑い
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
肝臓、血液系、神経系、腎臓の障害
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による血液系、呼吸器の障害のおそれ
水生生物に非常に強い毒性
長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

注意書き:

【安全対策】

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。使用前に取扱説明書を手入すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。換気が十分でない場合には呼吸用保護具を着用すること。保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を使用すること。粉じんを吸入しないこと。取扱い後はよく手を洗うこと。汚染された作業衣を作業場から出さないこと。環境への放出を避けること。

【救急措置】

飲み込んだ場合: 直ちに医師に連絡すること。口をすすぐこと。
吸入した場合: 空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。直ちに医師に連絡すること。

皮膚に付着した場合：多量の水と石鹼で洗うこと。汚染された衣服を脱ぐこと。汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。皮膚刺激又は発疹がおきた場合は、医師の診断、手当てを受けること。

ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断、手当てを受けること。気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。

露出物は回収すること。

【保管】

施錠して保管すること。

容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。

【廃棄】

内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

4. 応急措置

- 吸入した場合：直ちに新鮮な空気のある場所に移動させる。呼吸をしていない場合、呼吸が不規則な場合、呼吸停止が生じた場合には適切な訓練を受けた者が人工呼吸もしくは酸素吸入を行う。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。直ちに医師の手当、診断を受けること。
- 皮膚に付着した場合：水と石鹼で汚染された皮膚を洗う。皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 目に入った場合：直ちに多量の水で時々上下のまぶたを持ち上げながら少なくとも15分間は洗う。眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。
- 飲み込んだ場合：医師の指示がない限り吐かせてはならない。意識がない場合決して口からものを与えてはならない。襟、ネクタイ、ベルト、ウエストバンド等の衣類の締め付けをゆるめる。直ちに医師の手当、診断を受けること。

5. 火災時の措置

- 製品の可燃性：火災や加熱により圧力の上昇が起こり、容器が破裂することがある。
- 消火剤：ウォーターズプレー、泡もしくは粉末化学消化剤。認知済みの不適切消火媒体は無し。
- 特定の危険有害性：火災が発生したら、速やかに火災現場から人員を退避させ現場を隔離する。人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない者が行動してはならない。本製品によって汚染された消火用水は封じ込める必要があり、水路、下水、または排水管に放出してはならない。
- 有害な燃焼生成物：分解生成物は以下の物質を含んでいることがある。
硫黄酸化物
金属酸化物
- 消防士用の特殊保護具：消防士は適切な保護器具と、陽圧モードで動作するフルフェース 部分を備えた自給式の呼吸器具 (SCBA) を装着しなければならない。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：
人的リスクを伴うような行動、または適切な訓練を受けていない者が行動してはならない。周辺地域の人々を避難させる。関係者以外ならびに保護用具を着用していない作業員の入室を禁じる。漏出した物質に触れたり、その上を歩いたりしてはならない。蒸気やミストを吸入しない。十分な換気を行う。換気が不十分な場合は適切な呼吸用保護用具を着用する。適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。

環境に対する注意事項：

漏出した物質や流去水の拡散、および土壌、水路、排水溝下水道との接触を回避する。製品が環境汚染(排水、水路、土壌または大気)を起こしたときは、関係する行政当局に報告する。水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である

可能性がある。

少量流出:

危険性がなければ、漏れを止める。漏出区域から容器を移動する。水で希釈してから拭き取るか、もしくは乾燥した不活性物質で吸い取り、適切な廃棄容器に収容する。許可を受けた廃棄物処理業者に依頼して処分する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い: 適切な個人保護具を使用すること(セクション8を参照)。本物質の取扱い、保管、作業を行う場所での飲食および喫煙は厳禁。作業後は手を洗い、摂取してはならない。眼、皮膚および衣類に触れないようにする。蒸気やミストの吸入を避ける。環境への放出を避ける。使用しないときは元の容器又は適合素材で作られた認可済みの代替容器に入れ、密閉して保存する。容器が空でも製品の残留物が残存していて有害危険性がある。容器を再利用してはならない。

保管: 現地法に従い製品ラベル(添付文書)に記載の温度および条件で保管する。元の容器に入れ、換気の良い乾燥した冷所で直射日光を防ぎ、混合禁止物質(セクション10を参照)および飲食物から離して保存する。使用直前まで、容器は固く閉め封印して保管する。いったん開けた容器は入念に再密閉し、漏出を防ぐため直立させて保管する。ラベルのない容器に保管してはならない。環境汚染を避けるために適切な容器を使用する。

8. 暴露防止及び保護措置

推奨されるモニター措置: 当製品が暴露限界を有する物質を含む場合、個人、作業場の空気、あるいは生物学的なモニタリングを行い換気等の管理手段の有効性、および呼吸器保護具を使用する必要性、あるいはそのいずれかを明らかにする必要がある。

技術的対策: 特別な換気設備は必要ない。全体換気装置は作業者が暴露される空中浮遊物質濃度の管理に十分なものを使用する。もしこの製品が暴露限界を有する場合は、工程の密閉、工程ごとの排気設備、あるいはその他の工程管理対策を用いて作業者の空気中の汚染物質への暴露を、推奨あるいは規制された限界以下に保つこと。

衛生措置: 化学製品の取り扱い後は、食事、喫煙およびトイレの使用前および作業時間の最後に、必ず手、前腕および顔を洗う。汚染された可能性のある衣類を取り除く際には、適切な技術を用いる。汚染された衣類は、再着用の前に洗濯する。作業場所の近くに洗眼スタンドと安全シャワーが設置されていることを確認する。

個人の保護措置

呼吸器の保護具: リスク評価により必要性が示されたときは、承認された基準に合格した、身体に良く合った空気清浄機能付きまたは給気式の呼吸保護具を使用する。使用する呼吸保護具は、既知もしくは予測される暴露量、製品の危険有害性、選択される呼吸保護具の安全作動限度に基づいて選択しなければならない。

手の保護具: リスク評価によって必要とされるときは、化学製品の取り扱いの際、承認された基準に合格した耐化学品性で不浸透性の手袋を常に着用する。

目の保護具: リスク評価によって必要とされるときは、液体の飛まつ、ミスト、ガスあるいは塵埃への暴露をさけるため、承認された基準に合格した安全眼鏡を着用する。

皮膚の保護具: 作業者の身体保護衣は、行う作業の内容および関連するリスクに基づいて選択しなければならない。さらにこの製品を取り扱う前に専門家の承認を受けなければならない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状態、形状、色など:	青色透明の液体
臭い:	無臭
引火点:	適用なし
燃焼範囲:	適用なし

10. 安定性及び反応性

安定性:	安定
避けるべき条件:	データなし
避けるべき物質:	データなし
有害な分解生成物:	通常の貯蔵および使用条件化で、危険な分解性生物はなし
有害な重合反応:	通常の貯蔵および使用条件化で、危険な重合反応は起こらない
<u>反応条件</u>	
可燃性:	以下の物質もしくは条件の存在下では不燃性 直火、火花、静電放電、熱

11. 有害情報

急性毒性:	経口: ラット LD50 300mg/kg, 960mg/kg 腹腔: ラット LD50 20mg/kg 静脈: ラット LD50 48900ug/kg, ラット TDLo 12mg/kg 皮下: ラット LD50 43mg/kg 報告なし: ラット LD50 520mg/kg
慢性毒性	データなし

12. 環境影響情報

水質汚染物質である。大量に放出されると環境に対して有害である可能性がある。	
水生環境急性有害性:	甲殻類(オオミジンコ)の48時間LC50=7μg/L(EHC200、1998)(硫酸銅(II)・無水物濃度換算値:17μg/L)から、区分1とした。
水生環境慢性有害性:	急性毒性が区分1、金属化合物であり水中での挙動および生物蓄積性が不明であるため、区分1とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物:	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装:	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制:	
海外規制情報:	該当しない
航空規制情報:	該当しない
国内規制:	
陸上規制情報:	消防法の規則に従う

航空規制情報: 該当しない

15. 適用法令

労働安全衛生法: 名称等を通知すべき有害物(法第57条の2、施行令第18条の2別表第9)
(政令番号 第379号)

化学物質排出把握管理促進法(PRTR法): 第1種指定化学物質(法第2条第2項、施行令第1条別表第1)(政令番号 第207号)

16. その他の情報

EUのリスクフレーズ及び安全フレーズ:

R51/53 - 水生生物に有毒であり、水生環境に長期の影響を与えることがある。

S57 - 環境汚染を避けるため適切な容器を使用する。

S61 - 環境への放出を避ける。個別の取扱説明書もしくは安全データシートを参照すること。

本化学物質安全性データシートの記述は、改定日時点で Siemens Healthcare Diagnostics の専門家の見解であり、各種文献等から得られた情報に基づいて作成しています。しかしながら必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、本製品の取扱いには充分注意してください。また、ここに含まれる情報は、いかなる保証をなすものではありません。本製品を使用される際には、各施設毎にその用途・用法に適した安全対策を実施してください。